※令和４年度以降入学生用

学校番号	408

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章記述、スピーチなど、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な場に応じた文章を「書く能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」をしっかりと身に付けましょう。
・漢字の小テストを通じて、正しい漢字の知識を深めていきましょう。
・予習として自己を振り返り、自分の長所を見つけていきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査を行いませんので、１回１回の授業が大切になります。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	文章を書く ［教材］ ・プリント 文章に対する感覚調査 正しい表現をするために ・漢字ワーク	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 c：・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート
	課題に応じた文章を書く ［教材］ ・プリント 小論文 手紙の書き方 ・漢字ワーク	a：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 b[書]：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 c：小論文と作文の違いをふまえ、小論文らしい文章を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート
	自己を表現する ［教材］ ・プリント 夏休みの思い出 ・小論文 ・漢字ワーク	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 b[書]：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート
	自分について知る・表現する(スピーチ) ［教材］ ・ワークシート ・原稿用紙 ・評価シート ・漢字ワーク	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[話]：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート スピーチ発表の観察	ワークシート スピーチ発表の観察
	自分について表現する(ディベート) ［教材］ ・小論文 ・プリント ・漢字テスト	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[話]：視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 c：ディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ディベートの状況観察	ワークシート ディベートの状況観察

※令和４年度以降入学生用

	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間

・読むこと　…　（　０　）時間